

一般質問

市民の声を市政に

一般質問に28人が登壇

(文責は、各質問者)

市議会は、年4回(3月、6月、9月、12月)定例会を開会しています。本会議は、通常午前10時から開催されます。議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。身近な市政を知るためにも、議会の傍聴してみませんか。

なお、一般質問発言通告一覧表は、市議会のホームページに掲載されるほか、市役所本庁舎総合案内・議会中継テレビの横、各公民館に置いてありますのでご利用ください。

(仮称)庄和図書館 管理運営について



野口 浩昭
議員

先般、(仮称)庄和図書館(仮称)庄和児童センターの有効活用基本計画の報告がありました。多くの市民からの要望も高いこの施設は、平成22年10月オープン予定とのことですが、その管理運営方法について、指定管理者制度の導入を検討しているのか伺います。

現在、多くのボランティアの方々が図書館運営に携わっていただいております。もし指定管理者制度を導入するのであれば、こうした積極的に図書館運営をサポートしてくれる市民が、NPO法人などを組織し、図書館の管理運営に参画できないか検討してみてはいかがでしょうか。

○総合政策部長

指定管理者制度は、市の導入指針に照らし合わせ、住民サービスの向上とともに、経費の削減が図れると判断した場合に導入を検討します。

また、ボランティア活動をしている方々が図書館の管理運営のためにNPO法人を設立するのであれば、大変歓迎すべきと考えます。議員ご提案の市民参加による図書館運営については、地域に密着した適切な市民サービスが期待できるという点において、十分に検討すべきと考えます。

このほか

- 西金野井第二土地区画整理事業について
- 藤塚米島線の道路整備事業について
- 東埼玉道路整備事業について

市職員を退職時に昇給させて退職金を上乗せする退職時特別昇給制度の存続について



大山 利夫
議員

退職時特別昇給制度とは、一定条件を満たす職員が勧奨退職する際に昇給させて退職金を上乗せする制度ですが、国、県においては適切ではないとの判断から廃止しております。また、県内では40市中18市で存続しているものの、今年度中に10市が廃止を検討

しております。

そこで、当市は今年度もこのあしき制度を存続させるのか、また、存続する場合の影響額をお聞かせください。

○総務部長

職員組合に提案の上、今年度末で退職する職員を最後に廃止することで、現在事務手続を進めています。

影響額は、平成19年度末に勧奨退職した46人の場合、合計で約490万円です。

○市長

事前に周知した上での対応が必要であるため、今年度末で退職する職員を最後に廃止する予定です。

このほか

- 「赤ちゃんの駅」について
- 小・中学校施設の耐震化事業等を目的とした「春日部市寄付によるまちづくり条例」の制定について
- 学校体育館に大型送風機の設置を
- 東中正門前に信号機設置を
- 牛島小学校の裏門側通学路の道路舗装について
- 銚子口香取神社近辺の道路舗装及び側溝の整備を
- ドッグランの設置について
- 市立看護専門学校生徒用の机とイスの買い替えを

幼保一元と 認定こども園について



也 幹 武 議員

女性の就業率が高まる現在、認定こども園が法整備されたことで、働きながら、子どもに幼児教育を受けさせることが可能になりました。県内では平成20年4月に4カ所の施設が認定を受けております。

また、それに先立ち、県では幼稚園が保育サービスを兼ねる、幼稚園・保育園一体化事業を推進し、当市では3施設が設置されております。

県が国をリードして始めた幼稚園・保育園一体化事業が原動力となり誕生した認定こども園の、さらなる拡大を望みますが、当市における考えと今後の取り組みについて伺います。

○福祉健康部長

急激な少子化の進行に伴い、幼児期の子どもが保護者の就業の有無にかかわらず、適切な教育や保育を一体的に受けることは、次世代の健全な育成を図る観点から非常に重要

であると考えています。当市では、現在3カ所の幼稚園で保育施設が整備され、保育所待機児童の減少が図られています。ただし、現在は認定こども園の申請にまでは至っていません。

今後は、認定こども園制度について他市の取り組みを参考にしながら、当市における幼児教育、保育のあり方を見きわめたいと考えています。

このほか

○人間ドックについて

○給食費について

○中学校のクラブ活動の保護者負担について



一 浩 松本 議員

ふじみ野プール事故を教訓に 業務民間委託の見直しを

市民文化会館には数年前まで「ビル管理・機械運転」の資格を持った職員が配置されてきました。しかし、ここ数年間、専門職員は採用されず、民間への業務委託が行われ、職員の数も減らされて、現在は3名です。

また、人事異動も頻繁に実

施され、施設や設備に詳しい職員がいない状態です。市民文化会館は多くの利用者があり、使用料も値上げしたばかりであるにもかかわらず、ここ数年、苦情やトラブルも発生しています。

今年4月1日の「建築設備管理業務委託」の不適切な契約も、専門職員不在の中で起こったことです。

市民文化会館に限らず、2006年7月に発生し、5月27日にさいたま地裁で当時の体育課長や管理係長が禁固刑の判決を受けた、ふじみ野プール事故を教訓にして、専門性のある仕事は民間に委託をせず、きちんと市の専門職員を配置するとともに、市全体の業務民間委託は見直すべきです。

○総合政策部長

業務委託は、管理体制をしっかりと整えて対応していきます。配置が必要な専門職員は、施設の適正な管理運営に支障を来すことのないよう、今後とも対応していきます。

このほか

○生活保護世帯へのケースワーカーの訪問は複数で

○藤塚米島線の進捗状況について

豊春駅通りの都市計画 及び歩道整備について



久 美 河井 議員

市道1-18号線、いわゆる豊春駅通りについては、都市計画の予定ということの上、田、道口蛭田、増富地区の住民を対象として説明会が開かれたと思いますが、現在はどうなっているのでしょうか。

また、都市計画が難しいとしても駅通りは交通危険道路であり、今の状況で我慢してくださいと、この先何年言えるでしょうか。そこで、豊春駅通りの歩道整備の取り組みと進捗状況についても伺いたいと思います。

○都市整備部長

豊春駅通りは、通過交通の車両が多く、駅へ向かう人も多いため検討を行っていましたが「都市計画道路のような広幅員の道路は必要ない。」と理解が得られず、都市計画決定は見送ったものです。

○建設部長

現在は、地元住民の皆さんとの協議の上、要望の高かつ

た歩道整備を進めています。歩道整備計画要領を策定して、平成16年4月から、土地所有者の方が建物の建て替え時に、現在の道路境界線から2メートルを歩道用地として協力いただくものです。現在までに6件、約253平方メートルの用地を協力いただいています。今後も建物の開発や開発行為の際には、土地所有者の皆さんに協力をお願いしながら、安全性の向上のため歩道整備の推進に努めていきます。

このほか
○市立病院の組織見直しについて



豊春駅通り（市道1-18号線）

黒沼耕地としての
農業公園について
活用策について



蛭間 靖造
議員

内牧の黒沼耕地整備といいますが、これまでは都市公園として整備していくイメージが強く、水田や果樹園を活用した農業公園としての整備に目を向けたことはなかったような気がしますが、黒沼耕地は約60ヘクタールの広さを持つ水田と果樹園など農作物の宝庫です。農業環境にすぐれた内牧で農村文化に触れたり、農業を体験したりするためには、農業振興の拠点として、さらには農業情報の発信場所として、黒沼耕地を整備することが必要なのではないのでしょうか。そこで、市内の農家の方々が育てあげてこられた農業環境を残しながら、埼玉県営農業公園などを誘致できないものかお伺いします。

○環境経済部長

埼玉県の農業公園は、自然との触れ合い、食の教育等を目的とし、レクリエーションの場として整備される施設で



黒沼耕地

す。都会の住民は農業を体験できる場所を求めている一方で、農業環境を維持するためには、農業を理解することが必要であり、農業公園のような交流施設が必要となります。県農業公園の誘致については、埼玉県と過去に調整を行った経緯がなく、埼玉県として、新たな農業公園の整備計画は現在のところないと聞いています。県農業公園の誘致は、難しいものと考えています。

このほか

○市道2-41号線の安全確保と住環境整備について

黒沼水田地帯の開発と
広域行政の関連について



石川 勝也
議員

内牧地区と岩槻区鹿室に面した一帯が黒沼水田地帯です。平成元年、県の緑のマスタープランで黒沼水田地帯の大規模公園の計画がありました。水田はもちろん、雑木林に恵まれた自然環境は大変貴重なものです。この自然環境を大いに生かした大規模公園計画のその後の状況を伺います。

黒沼水田地帯が大規模公園となれば、市内外から多くの人が訪れる場所となるでしょう。地元特産の農産物にも関心を持つようになり、地域の活性化も期待できます。一方この地域では、諸般の事情により耕作離れがあるようです。豊かな自然環境は市民の宝ともいえます。その自然環境を確保するために、買取や賃貸契約を検討していただきたいと思えます。またシヨウブ園等の有効利用は継続していただきたいと思えます。

○建設部長

6月7日、5カ国によるエネルギー省の会合が青森市で開かれ、石油高騰に関して、深刻な懸念を共有するとした共同声明「青森宣言」が採択されました。今後、中国やインドでは、石油の需要量が拡大する一方で、石油産出国の供給量は増えないことが予想

石油価格高騰による
影響について



白土 幸仁
議員

黒沼水田地帯の公園開発については、旧岩槻市とともに要望してまいりましたが、県では現在この計画は休止されている状況です。市としては、内牧公園に隣接した約1・4ヘクタールを内牧黒沼公園として暫定整備しており、トンボ池やシヨウブ園、ハナハス園等が大変好評です。今後とも地域の特性を考慮しながら公園整備を行ってまいります。

このほか

○将来を担う青少年の健全なる育成を図るために
○少子化に関する世論調査と対策について

6月7日、5カ国によるエネルギー省の会合が青森市で開かれ、石油高騰に関して、深刻な懸念を共有するとした共同声明「青森宣言」が採択されました。今後、中国やインドでは、石油の需要量が拡大する一方で、石油産出国の供給量は増えないことが予想

○財務担当部長

石油価格高騰に対する本市の対策としては、平成20年度内を通じて計画的に予算を執行するとともに、事業の必要性、根拠を十分に確認し、不要な経費の支出は厳しく慎重、効率的な予算執行に努めてまいります。

○総務部長

ガソリン価格等の高騰により、行政コストが増加しないよう、職員一丸となり、環境への負荷を考慮しつつ、経費の節減に努めていきたいと考えています。

このほか

○団塊の世代対策について

市民の健康のために
緑道整備を



鬼丸 裕史 議員

近年の高齢化の進展は、著しいものがあります。本市でも健康意識の高まりから総合体育館「ウイング・ハット」を中心としたエリアでは休日ともなると、サッカーなどで多くの方が汗を流しています。特にウォーキングやランニングは、手軽な健康増進策として、休日よりもより平日においても、高齢者をはじめ、多くの市民がウイング・ハット近くの安之堀川沿いで楽しんでいきます。安之堀川の両側には、現況幅員2メートル弱の道路がありますが、道路幅員が狭いためか自動車等の走行が少なく、多くの方がウォーキングやランニングコースとして利用しています。

安之堀川の両側が水田のため、全面的な進入禁止措置をとることは、農耕車の通行等が想定され難しいと考えています。また、注意を喚起する標識を設置することを含め、必要に応じて歩行者の安全対策に努めてまいりたいと考えています。

このほか
○春日部市の積極的なアピールを
○四川省大地震を踏まえて小・中学校の耐震化について



秋山 文和 議員

消防広域化について

どして、利用者の安全を確保してみたいかがでしょうか。

○市民部長
安之堀川の両側が水田のため、全面的な進入禁止措置をとることは、農耕車の通行等が想定され難しいと考えています。また、注意を喚起する標識を設置することを含め、必要に応じて歩行者の安全対策に努めてまいりたいと考えています。

このほか
○春日部市の積極的なアピールを
○四川省大地震を踏まえて小・中学校の耐震化について

域化は義務なのか、自主的なものなのか。2点目、本市の人口は国基準の30万人に近く、効率的な運用ができていないと考えられないか。3点目、消防団は再編対象ではないので、消防本部との行動連携に障害とならないか。4点目、人口当たりの資機材の整備指針上、現状不足状態のようですが、広域化により過剰とされないか。5点目、消防職員が地理不案内を不安に感じるのではないか。以上5点について消防長の考えを伺います。

○消防長
1点目については、広域化は自主的なものと理解しています。2点目は、現行の体制において効率的な活動ができています。3点目は、消防団と消防本部はこれまでも緊密に連携しており、広域化による組織力の低下はないと考えます。4点目については、地域実情に応じた消防力整備に努めます。5点目については、広域化となれば不安解消に向けた努力をします。

このほか
○過去の廃棄物行政について
○市民運動と市長発言について

桜川小学校南側
市道1-110号線の
安全対策について



富樫 清年 議員

市道1-110号線は、子どもたちの通学路になっていくことから、朝夕の通学時間帯には、たくさん子どもたちが通ります。しかし、小学校東南側の角地は見通しが非常に悪く危険です。平成22年までには拡幅整備が行われる予定ですが、整備されるまでの間は隅切りなどを行って子どもたちの安全を確保していただきたいと思います。市としての見解をお伺いします。

○学校教育部長
桜川小学校の南側は道路よりも高く、樹木や金網フェンスに囲まれていることから、自動車等を運転する人からは視界が悪く、子どもたちの登下校の安全確保のためにも、早急な対策が必要と考えています。南側の道路は、幅員16メートルで整備される予定ですが、道路が整備されますと、登下校の子どもたちの安全は確保されます。道路が整備さ



桜川小学校東南側交差点

自治体シンクタンクの設置について



中川 朗 議員

市は昨年、共栄大学、共栄学園短期大学と包括的連携協定を締結し、今年度から包括的連携推進事業として地域に根差した調査研究や政策提案を奨励しています。そこで、春日部市においても市の職員を参画させた自治体シンクタンクの設置を検討すべきだと思いますが、執行部の見解を伺います。

また、春日部市が先進的に他市の模範となる政策や事業を発信し、地域価値や市民満足度を高めていくためにも、自治体シンクタンクを設置、または設置に向けた研究をぜひ進めていただきたいと考えますが市長の考えを伺います。

○総合政策部長

本市では今年4月から政策情報の調査及び研究を所掌する政策推進担当を設置し、政策課題への研究を始めたところです。自治体シンクタンクの設置については、他市の活

動状況等を見ながら今後十分に検討したいと考えています。

○市長

地域価値や市民満足度を高めるために、地域に根差した大学、関係者、有識者等の皆さまにご協力をいただきながら、本市にふさわしい政策研究を進めたいと考えています。

このほか

- 救急ヘリ、防災ヘリの活用とヘリポートの設置について
- 住居表示の推進について
- 多文化共生社会の実現に向けて
- 自然に親しめる水辺づくりについて

合併の評価について



会田 幸一 議員

合併後、3年を迎えるに当たり、合併に関して一定の評価を出しておく必要があると考えます。現在、宮代町と杉戸町で春日部市との合併に向けた動きがあるようですが、今後の合併に向き合う前に、今回の合併について一度評価した上で、次の合併を検討す

ることも必要かと考えます。市の考えを伺います。

また、合併の評価は行政だけでなく、市民がよかったと実感していただくことが重要ですが、フォーラムなどを開催し、機会を設ける意向があるのか伺います。

○総合政策部長

事務事業の調整は、合併時に統一されていないものが全体の約34%でした。今年4月の時点では全体の1・8%、24事業まで減少し、合併後着実に事務事業の調整が進んできたと判断しています。合併の効果や実績等は、毎年、広報かすかべ10月号に特集記事を掲載する等、必要に応じ市民の方々に周知しています。また、フォーラム等の開催時期や方法等は検討します。

このほか

- 新春春日部の魅力等の情報発信について
- 南桜井駅周辺整備におけるまちづくりの取り組みについて
- 庄和地区夏まつり花火大会実施について
- 市民文化会館トイレの現状について
- 民間による市民農園について

江戸川堤防沿いに桜の苗木の植樹を



鈴木 保 議員

外郭放水路庄和排水機場から吉妻橋までの約3キロメートル、面積にして約4万5千平方メートルの土地に、桜の苗木をオーナー制にして植樹し、将来的に観光の名所にしてはどうかという質問を過去にしました。ここは江戸川河川事務所土地であって、占有をすれば苗木を植えることは支障がないとの当時の答弁でしたが、その後現在も植樹は可能なのでしょうか。

また当時、管理費用として年間約1500万円が必要とのことでしたが、その負担を市と国とで話し合うとか、オーナー様に草刈り等をボランティアで行ってもらう等により、市の負担を軽くする方法は考えられないでしょうか。

5月の大風あげ祭りと、その1カ月前の江戸川堤の桜の花見となると、西金野井から宝珠花までが観光の名所になると確信しておりますが、市

の見解を伺います。

○建設部長

江戸川河川事務所に確認したところ、植栽は可能ですが、整備維持管理は占有者が行うべきとのことで、費用負担については大変厳しいと考えます。また、長期的、継続的にオーナーに手入れをお願いすることも難しいと考えます。

○市長

将来の新たな観光名所として期待できますので、継続して協議を行ってまいります。

このほか

- 児童生徒の豊かな心をはぐくむ体験活動の取り組み



江戸川堤防